

きたいと云ったが母親に反対されて…」と言っていたことを思い出して悪寒がした。

以前にも訪ねたことがある無言館。絵画と家族への便りの実物を拝見し、自然と涙が滲んだ。お国のために若い有能な方々が命を落とされ事に、何とも言えぬ心境になった。終戦直前の短期間に、国体護持のため松代に大本営地下壕が建設されたが、労働者の多くは朝鮮半島の人たちだった。日本の植民地だった故の影響が感じられ、改めて戦争の悲惨さを心に刻んだ私。(橋本松進さん)

## 小松基地騒音測定のとまめ

10月17日～22日の4日間行なわれ、県平和委員会は小松市民センター裏を担当し9人が参加。弁護士や民医連職員などのべ32人が参加した。



今回は全て調査地点方向への離陸で、100 dBの超過が度々見られ、F35A戦闘機の比率が高かった。自衛隊統合演習の関係か、T4練習機が三沢基地へ。入間基地からの飛来も確認。そして、和歌山県の南紀白浜空港(「特定利用空港」に指定)に向かうF15戦闘機もあった。=いずれも無線交信傍受による(柴原)

また、22日の午前、民医連職員と弁護士修習生に基地の歴史や騒音記録が爆音訴訟に活かされることを説明した柴原事務局長=写真。

10月17日午前、金沢の犀川ロード9条の会が小松基地見学・戦闘機騒音体験・周辺の戦争遺跡めぐりの企画に、柴原事務局長が対応しました。

**百聞は一見にしかず** 森岡智恵子  
もらった資料はカラー写真付きで

**“平和の仲間づくり”  
を進めよう!**

会費は月/350円。平和新聞は毎月3回発行 470円。  
月間の運動誌/300円です。

地図・解説の丁寧さに驚きました。短時間に効率よく廻った8か所の見学先では、柴原さんのこれまでの活動量を感じました。

小松空港は、自衛隊との共用飛行場だとは知っていましたが、「管制塔から消防から所有も管理も自衛隊で、民間は使用料を払って借りている立場」だと教えてもらいました。有事?には、出撃しなければならない隊員たちです。

いつ飛び出すかわからないF15戦闘機の飛行を目撃し、その爆音と機影に恐怖を感じました。「歩く憲法カフェ」できたら、またやりたいです。

川本浩平さんからお礼のメール。「小松基地を知るフィールドワーク」を初めて企画し、生きた勉強となりました。飛行場の送迎デッキ、空港駐車場、帰路の車中で凄い爆音を体感。「何事が起きたかなと首をすくめて保身」しました。一人でも多く

## ニュース フラッシュ

- 10月1日 なんぶアクション合同スタンディング。11月5日も(アルコ前)
- 3日 改憲NO!街頭宣伝
- 9日 県原水協「6・9署名」行動
- 7日 エムザ前で市民アクション・いしかわ「イスラエルによるガザ侵攻2年」抗議スタンディング
- 8日 「怒りの昼デモ」
- 12日 平和町9条の会「憲法カフェ」で柴原事務局長が参政党について話題提供
- 15日 エムザ前で「沖縄の支援・連帯」街頭宣伝
- 17日～22日 小松基地「騒音測定」
- 17日 犀川ロード9条の会「動く憲法カフェ」で小松基地と周辺施設を案内(柴原)
- 18日・19日 「平和の旅in信州」
- 19日 市民アクション・いしかわ、街頭宣伝
- 25日・26日 「日本平和大会in愛知」3人がオンラインで視聴
- 11月3日 「憲法集会」で小松基地の現状と課題がテーマに

が小松基地の騒音の実態を知ることだと思います。お礼にかえて。

石川県宗教者平和協議会が10月20日、以下の声明文を発表。この声明は国連や世界の指導者、日本政府、平和諸機関、報道各社あてに発せられたものです。

地球上で、命を授かっているすべての皆様へ

私達、現生人類は、「地球」という「かけがえのない命の星」に生まれながら、排気ガス等による気候変動や、命を奪い合う戦争を起こし、自然環境破壊、命の破滅を呈し、大変、迷惑をかけています。ここに、その罪業を反省し、人類社会に対して、即刻、改善すべきことを声明文にして発表しました。

(1)私達、石川県宗教者平和協議会は、全世界の国家指導者に訴えます。現在のパレスチナ・イスラエルにおけるガザ地区の戦争、ウクライナ・ロシア間の戦争を、一刻も早く停戦させ、永久的に終結させるために、そして、21世紀中に、地球上から、すべての国において、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇、武力の行使を永久的に放棄する」(日本国憲法9条)を明文化することを切に求めます。

(2)日本国政府に対しては、武力の威嚇と行使に当たる軍事同盟・日米安保条約を破棄し、核兵器禁止条約を即刻に批准し、日本国憲法9条を外交の中心に据えて、平和外交を力強く推進してください。日本国の役割です。世界は期待しています。

日本国家は、先に太平洋戦争(後に第2次世界大戦へと拡大)を起こし、多くの犠牲者を輩出させました。この懺悔心から、憎悪の連鎖を断ち切る「新しい次元」を切り開き、上記の憲法9条に見られる叡智が生まれ、全国各地の人々による「9条を守ろう」の声のおかげで、この80年間、戦争もなく、参戦もしていません。しかし、新しい次元に入りきれない政治家の惑わくで、少し揺れ、憲法9条が、日本の宝、世界の宝であることを横に追いやろうとしている面もありますが、国民は、地方に至るまで「憲法守れ」で、立ち上がり、新しい世紀での「戦争の無い世界をめざす」叡智は健全です。

かつて「人類は万物の霊長」と言われ、人類のみに与えられた「叡智」を誇りとし、思想や文化、科学等が発展し、すべての命との平和共存を目指す社会的人間として生きることを使命としています。ところが今、逆に利用し、人間同士や、他の命を平然と奪い合い、「人類は万物の害悪」と言われている状況です。「本来の叡智」を授けられた命の所に戻り、「万物の霊長」として、人類に求められている政治を行うことが根本の道ではないでしょうか。世界の皆様方の新しい次元での「叡智」を信じています。共に歩みましょう。合掌。